事業所名: eku	ро норре	支援フロクラム				作成日	2024/10/
法人理念	ekuboのスタッフ一人一人が世の中を変えるリーダーになれ!そのために目の前、周りを照らせ						
支援方針	 ○大人との信頼関係を基本に、自分が愛され、大事にされ、受け止められているいう実感の中で、自分を大切にする子どもに育てます ○日常生活における基本動作を習得し、集団生活に適応するように育てます ○様々な経験を通して、子ども同士の関わりを増やし社会性を育てます ○子どもの「気づき」や「やろう」とする気持ちを大切にし、見守ります ○一人ひとりの個性、発達段階を的確に捉え、「自分らしさ」を発揮をできるように支援します ○家庭との連携を大切に、ともにどもの成長を支え、喜びを分かち合い、あかるく安らぎのある環境づくりを目指します 						
	○笑顔とあいさつを大切にします						
	○歌や絵本の読み聞かせ、感触あそびなど様々な遊びを通して、言葉や心を豊かにします						
営業時間		10時 から 18時	送迎到	産施の有無	(3 D)	なし	
		支 援 内	容				
		・年間支援計画・月次支援系買う・週案による活動					
	健康・生活	・朝の会 (読み聞かせ・手遊び・出欠確認・当番活動・天気) ・帰りの会 (季節の歌)					
		・朝の云 (武が町がせ・手遊び・四久確認・当番店動・天気) ・食事 (医療的ケアの注入含む・排泄・手洗い・衣類の着衣指導					
		・良事(医療的グアの注入させ・排泄・子流い・衣類の看衣指導 ・検温(登所時)・通院情報の共有・投薬・痰の吸引					
	運動・感覚	・月次支援計画・週案による活動					
		・自力歩行・事業所内移動・戸外活動					
		・理学療法(寝返り・摺りばい・歩行・うつ伏せ・座位・立位・座位帆維持椅子の使用・調整)					
本人支援		・音楽あそび(音の感覚・楽器遊び・リズム感)・水あそび、砂あそび、感触あそび					
		・月次支援計画・週案による活動					
	認知・行動	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
		・朝の云(読み面がセ・子遊び・山火作説・自番治動・犬気寺の争項についての理解促進)、集団参加(座づてみんなで行動する) ・学習支援(主集団活動、製作・絵本・リズム遊びなどで、物の名称、形、色、数の理解を促進する)					
		・子盲又猿(主栗凹冶動、裘作・松本・サベム遊びなどで、初め石が、形、色、数の座牌を促進する) ・学習指導(遊具・絵本・教材などで、概念形成、認知、手先の動き。巧緻性促進)					
		・月次支援計画・週案による活動					
	言語	・朝の会 (朝・帰りの挨拶、日時、天気、読み聞かせ、手遊び、当番活動・天気等の事項について、言語・理解獲得)					
	コミュニケーショ	来国治動多加によりコミューケークョン促進(他の利用ルの行は、我情、先生、先品治動など心臓する)					
		・朝の会(朝・帰りの挨拶、日時、天気、読み聞かせ、手遊び、当番活動・天気等の事項について、言語・理解獲得) 					
	. 日本技術は高、海安による活動						
	人間性 社会性	・月次支援計画・週案による活動					
		・週5回(月~金)の集団支援を継続することで、他児の存在に気づき、活性化され、指導性の発揮、集団生活の面白さを体感できる					
		・利用児以外の地域の大人(指導者・実習生)などど触	れ合いも体				
	家	・連絡帳(自宅での状況共有・相談事項)	移		療育(地域の保育園・幼稚		
族 支		送迎時の保護者へとの会話等でお互い子ども	行		実際に見て意義を理解して	もらい連繋に	
		の状況共有する	支	つながるため	に一般公開を行う)		
	援	・個別支援計画(6ヶ月子ど保護者への提示)	援				
		・行事参加(夏まつり・クリスマス会)					
地		・行政(国・府・市)		・府研修セン 	ター、各種、府・市などの	丗修会	
域		医療(病院・療育センター等)	職	事業所内研修	会、新人教育研修		
支		教育(支援学校・主御学校)	員の				
援		福祉(児童発達支援・放課後等デイ、	の 質				
	· 地	相談支援事業所)と連携を行う	りの				
	域	事業所連携等で支援クラス・保育園等訪問する	向				
	連	・実習受入実施し(社会福祉士、保育士	上				
	携	職場体験等)で地域連携を行う					
		TAME MITTERS 47 CALLANCE DE CITY	l	I			